



2025年 3月31日ごろ 発売予定

太宰治 滑稽と暴力の居場所

館下徹志 著

太宰文学の「暴力性」と、隣り合わせの狂気や滑稽さに注目した作品論、長年の集大成！

太宰治にとって「小説を書くこと」と「戦時下を生きること」は相互に活力を与えあう体験だった。

『人間失格』や『斜陽』だけではない。数多くの小品や翻案作品にみる「笑い」と「暴力性」をキーワードにたどる新たな太宰文学像。

≪目次≫

第一章 暴力を無効化する笑い

「畜犬談」——ユーモアの陰翳

「十二月八日」——ナショナリティにまみれる／おくれる笑い

第二章 救いとしての綻び——『新釈諸国噺』の方法

「大力」——越境者たちの本懐

「猿塚」——不憫という隠れ家

「人魚の海」——困難／希望としての「信」

「破産」——〈内証〉の行方

「裸川」——〈うがち〉で開かれる／閉じられる物語

「義理」——反響する〈卑怯〉

「女賊」——承認のための執着

「粹人」——決戦下の〈虚栄〉

「遊興戒」——転位する依存

「吉野山」——期待はずれの連鎖

第三章 作家／読者の相互依存

「水仙」——〈徳〉の不在証明

「トカトントン」——贈与としての〈語り〉

断片の織りなす〈座〉——太宰治・昭和一六年の〔アンケート回答〕四篇

著者：館下徹志(たてした・てつし)

1962年、北海道釧路市生まれ。北海道大学文学部卒業(1984年)、佛教大学文学研究科修士課程修了(2008年)。修士(文学)。大学卒業後、道立高校に勤めた後、釧路工業高等専門学校に勤務。横光利一・太宰治・金子みすゞなど、大正・昭和期の小説や詩を中心に研究を続けている。



四六判・並製／458ページ
定価：3200円＋税

青灯社 営業 (担当・辻)

FAX: 03-5368-6943

TEL 03-5368-6550

取次：トーハン、日版、楽天BN、八木書店、JRC、新日本図書

eメール info@seitosh-p.co.jp

(書店印)

館下徹志 著

太宰治 滑稽と暴力の居場所

冊

ISBN 978-4-86228-134-0 C0095

定価 3200円＋税